

平成 29 年度 新居関所史料館運営委員会

— 会議録 —

日 時 平成 30 年 3 月 22 日（木） 9 時 30 分～11 時 30 分
会 場 新居地域センター 2 階 南小会議室

○出席者

委 員	◎渡辺 和敏	
	○跡見 厚夫	
	吉村 理利	
	平野 克典	
	牧野 茂	
事務局	渡辺 宜宏	湖西市教育長
	落合 進	湖西市教育次長
	村田 義治	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長
	高橋 一敏	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長代理
	鈴木 紀子	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主査
	鶴 早紀子	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主事

◎：委員長 ○：副委員長 傍聴人：0 名

1 開会

2 あいさつ

渡辺教育長
渡辺委員長

3 報告・協議事項

（１）平成 29 年度関所史料館事業報告について

- ・新居関所史料館管理事業
- ・旅籠紀伊国屋資料館管理事業

（感想・意見等）

委 員：期間限定で開催する牡蠣小屋を他のイベントでも使えないか。
主催している泉町発展会の話によると、売上げがないとなかなか厳しい。
アンケート結果にもあったように、入館者に一見さんが多いため、一見さんに魅力を感じてもらえるようなイベントを常に行えたら良いのでは。

委 員：関所のみを目的に来る人はあまりおらず、他の観光と一体として来る人が多い。
新居関所の場合、周辺に観光地が少ないため、本興寺などと一体化して集客につなげた

い。例えば、割引券をだすなど。周りの景色を見ながら関所を理解してもらいたい。

委員：アンケート結果からわかるように、町内の方が関所に来ない傾向にある。関所がどのようなものかという認識が低い。関所に関することに興味がある人ならば、是非行ってみようという気持ちになるはずだが、アピールの仕方が足りない。若者など、スマートフォンなどの利用頻度が高いため、それらを利用しアピールにつなげたい。若者よりも年配の方が関所に興味をもっている現状は変えられない。まずは、地元の方に関所に関して興味を持ってもらうことが大切なのは。

委員長：アンケートの結果から、入館者のうち居住地が市内の方は3%ほど。まずは市内の方に足を運んでいただきたい。

（２）平成30年度関所史料館事業計画について

- ・新居関所史料館管理事業
- ・旅籠紀伊国屋資料館管理事業

（感想・意見等）

委員：企画展について、例えば「関所整備の過程」を行う際、一日だけでも専門家が来て、説明をしていただくような時間を設けてほしい。近所の人にも興味があれば来るはず。他施設の美術展などでは、ほとんどがギャラリートークなどを行っている。

委員長：紀伊国屋に関して、より自由にいろいろな展示を行ってほしい。お雛様展に関しても、3月3日で終わるのはもったいない。他施設を見ても、だいたい3月いっぱいに行っている。

委員：企画展に関して、スペースが狭い。ガラスの反射などでケース奥は非常に見にくい。また、最近では他施設は写真撮影を許可している。写真撮影を禁止する場所は限定的にし、なるべく写真撮影をしてもらうことがPRへつながるのでは。

委員：ガラス乾板について、印刷した乾板を来館者に配ったり、リーフレットに載せたりしてはどうだろうか。加えて、太陽光写真のような簡単に撮影できるものがあれば良いのでは。また、他展示場によくある顔出しパネルなども写真に関係しているので、写真展のときに展示できたら良い。

委員：浮世絵展について、史料館が所蔵している浮世絵を作家で推したほうが集客につながるのでは。関所という名目で開催すると、漠然としてしまい、興味が薄れてしまう。

委員長：地元の人をどのように呼び込むかについて、学校に来てもらうなど、子どもをターゲットにしてみてもは。おそらく市民の9割ほどは関所に来たことがないのではないだろうか。

事務局：チラシの効果がいまいちなのではないか。今後どのようにPRしていくのが良いか。

委員：口コミが非常に効果的。関所について詳しく知って来る人は少ない。口コミの材料になるものが必要。

委員：学校に見学してもらう。

委員：最近の資料館では、触らせる展示が多い。できるだけ触れることのできる展示を増やしたい。

委員長：子ども用の無料招待券を配るなどしてみたらどうか。もう少し泉町あたりに見どころがあると良い。また暦については、引札に暦がかかれており、史料を愛知大学郷土研究室

で所蔵している。借用をするなら、話することは可能。

（３）浜名橋跡について

委員長：浜名橋を記憶にとどめておいてほしい。また、橋は何度もいろいろな場所へ架け替えられたのではないか。そのため、どこに移設しても場所が間違っているという指摘がでるのではないだろうか。

委員：橋杭が出土したことから、この位置に看板を作ったのではないか。蜆が出土した位置は200 mほどあり、川的位置も変わっている。橋は何度も架け替えられていて、場所の特定は難しい。史跡看板の文面へ、橋が何度も架け替えられたという表記が必要。また、もう少し看板を豪華に作ってもいいのではないか。

委員：浜名橋跡の場所は、橋本より東と考えるのが自然。観光的に考えると移設したほうが良い。

委員：現在地よりも東が正しいと思う。人が見やすい所が良いため、老人福祉センター公園内移設に賛成。文面的にも、看板をもう少し大きくするのが良いのでは。

委員長：室町時代以前の浜名湖は淡水湖、という表現について、今切ができる以前は、という表現にしてはどうか。ただ、今切がいつできたのかという問題もある。どうしたら良いか。

委員：浜名湖は、汽水湖・淡水湖が繰り返されている。

委員長：もともと浜名湖は淡水湖で、という表現はどうか。

委員：もともとがいつなのか分からない。

委員：やはり、今切ができる前の浜名湖は、という表現が一番良いのではないか。

委員長：史跡看板の場所についてはどうするか。
とりあえずは、文面のみ変更し、移設については再来年度考える。

（４）文化財巡回調査の報告について

委員長：宇津山は指定しないのか。

事務局：山の地主が100人以上いるため、同意を得られない。
今のところ埋蔵文化財が埋まっているため保護の対象となっている。

委員長：市内に他に城跡はないのか。

事務局：何箇所かある。白須賀・境目・松田が挙げられる。（城郭・陣屋）

委員長：文化財保護審議会について、年何回開くのか。

事務局：決まりはない。

委員長：だいたいどの自治体も3回開いている。今回は2回（文化財保護審議会1回・関所運営委員会1回）。回数を多くしてもよいかも。

5 新居関所史料館企画展「旅じたく」見学

委員長：「旅行用心集」・・・文字よりも絵のあるところを開いたほうが良い。

委 員：古文書等、訳が必要。何を書いてあるのか分からない。

駄賃表等の文字が小さいものには拡大図を置くと良い。

委員長：もう少し解説をつけても良い。

委 員：地元の人に関連したものを展示解説してほしい。（軒別絵図など）

(以上)